

釀造試驗所

釀造試驗所報告 第八十九號



寄贈

41

10m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40cm 1 2 3 4 5

始



釀造試驗所報告第八十九號目次

報 告

一、脫脂大豆蒸熟ノ方法及程度比較試驗 ······ 一

一、米國加州產米使用釀造試驗 ······ 二九

# 釀造試験所報告第八十九號

(大正十一年十月)

## 報 告

### 脱脂大豆蒸熟ノ方法及程度比較試験

(第三回報告)

本報告ハ本所技師木下淺吉同雇勝山百壽ノ提出ニ係ルモノニシテ其要旨左ノ如シ

試験ノ目的 醬油ノ釀造原料トシテ脱脂大豆(通稱櫻豆)ヲ蒸熟スルニ壓力ヲ加フルト否ラサルトニヨリ  
製品ノ品質ニ如何ナル差異アルヤヲ試験シ併セテ脱脂大豆使用試験第一回及第二回ニ於テ脱  
脂大豆ヲ使用シタルモノハ之ト同種ノ大豆ヲ使用シタルモノニ比シ諸種ノ點ニ於テ寧ロ優良  
ノ結果ヲ得既ニ十分之ヲ支持スルニ足ルモ更ニ試験ヲ反覆シテ一層之ヲ確實ニセントスルニ  
在リ

試験ノ結果 脱脂大豆ヲ蒸熟スルニ壓力ヲ加フルト否ラサルトハ其程度適當ナレハ其加否ヲ問ハス製品ノ  
品質ニ於テ大差ナク又脱脂大豆ヲ使用シタルモノト之ト同種ノ大豆ヲ使用シタルモノトハ前  
脱脂大豆蒸熟ノ方法及程度比較試験

者概シテ諸味ノ熟成早ク且之ヲ壓搾シテ垂歩合多シ又製成醤油ノ品質モ寧ロ優良ニシテ然モ其濃度幾分濃厚ナル等全ク前二回ノ試験ノ結果ト相一致セリ

### 緒 言

大正九年三月醸造試験所報告第八十號ヲ以テ同二年十二月施行第一回櫻豆(脱脂大豆)及豆粕使用試験ノ成績及同七年六月施行第二回櫻豆(脱脂大豆)使用試験ノ成績ヲ發表セリ右試験ノ結果ハ何レモ脱脂大豆ヲ使用シタルモノハ之ト同種ノ大豆ヲ使用シタルモノニ比シ品質ニ於テ寧ロ前者ノ方優良ニシテ諸味ノ熟成早ク且ツ其壓搾成績良好ナル等全ク相一致セリ然ルニ各地方ニ於ケル試験所又ハ研究所其他醸造家ニテ脱脂大豆使用ノ結果ハ甚タ區々ニシテ或ハ優良ノ結果ヲ得タリト言ヒ或ハ失敗ニ終リタリト言ヒ其何レガ信ナリヤ第三者ノ地位ニ在ル多數ノ當業者中ニハ之ガ取捨ニ就キ今尙疑懼ノ念ニ驅ラレツ、アルモノ決シテ尠ナカラス然リ而シテ本所ニ於ケル脱脂大豆試醸ノ結果ハ前記ノ如ク全ク相一致スルニヨリ毫モ疑義ヲ挾ムノ餘地ナク十分之ヲ支持スルニ足ルヘキモ苟モ甚大ナル責任ヲ有スル本所ガ當業者ニ向ツテ脱脂大豆ノ使用方ヲ獎勵スル上ニ於テ更ニ試験ヲ反覆シテ一層之ヲ確實ナラシムル事ハ決シテ蛇足ニアラサルヲ信ス又從來本所ニテ施行セル脱脂大豆(櫻豆)使用試験ニ於テハ之ヲ蒸熟スルニ第一回及第二回何レモ加壓蒸熟法ニ依リシヲ以テ若シ加壓蒸熟ノ結果良好ナリシトセハ加壓罐ノ設備ナキ多數ノ醸造家ハ之ヲ使用スルコト能ハサルノ不便アリ斯テハ甚ダ遺憾ノ次第ナルヲ以テ加壓蒸熟法ニ依ラス普通ノ甌ノ類ヲ以テ蒸熟スルガ如キ場合ニ於テモ果シテ加壓シタルト同一ノ結果ヲ得ラルベキヤタ試験スルヲ必要トシ大正十年二月本試験ヲ施行シ本年三月其諸味ヲ搾汁製成シ其製品ヲ鑑評ニ附セシニ其結果ハ全ク第一回及第二回試験ノ結果

果ト相一致セリ仍テ左ニ本試験ノ顛末ヲ報告セントス

### 一、仕込要項

仕込號	試験細別	仕込年月日	仕込箇數	仕込石數	諸味搾汁年月日
(イ) 號	脱脂大豆加壓蒸熟	大正十年二月八日	一個	十石相當量	大正十一年三月三日
(ロ) 號	同右、無壓蒸熟	同年同月十二日	一個	同右	同年同月五日
(ハ) 號	大豆、加壓蒸熟	同年同月十六日	一個	十石	同年同月七日

### 二、仕込原 料

(大豆) 本試験ニ供シタル大豆ハ満洲產普通品ニシテ光澤ニ乏シク且ツ比較的夾雜物多ク一升ノ重量三百四十匁ヲ有セリ

(脱脂大豆又ハ櫻豆) 前記ノ満洲大豆ヲ原料トシ之ヲ神奈川縣川崎町日本改良豆粕株式會社ニ委託シ製造シタルモノニシテ從來同社ニテ肥料用トシテ販賣セルモノト差異ナシ左ニ當時ニ於ケル脱脂大豆ノ生産量ヲ示ス

原料大豆二十石

此ノ重量 六八〇・〇〇〇(四二五〇・〇〇〇)  
貢

生産脱脂大豆

五五〇・〇〇〇(三四三七・五〇〇)

大豆一石ヨリ生産

二七・五〇〇(一七一・八七五)

シタル脱脂大豆  
(備考) 本試験ノ爲メ醸造試験所ノ購入價額ハ満洲大豆、一石十五圓五錢、脱脂大豆一石相當量

(二十七貫五百目) 十四圓三十錢ナリ

脱脂大豆蒸熟ノ方法及程度比較試験

三 (三)

(小麥) 相州産ニシテ品質良好一升ノ重量ハ三百六十匁ナリ

(鹽) 關東州並等鹽ヲ使用セリ同鹽ハ結晶粗大且ツ土砂ヲ混有スルコト多シ

(仕込水) 第一回及第二回試験ニ使用シタルモノト同一ノ井水ニシテ本所構内ニ在リ水質良シ

### 三、仕込容器及仕込原料ノ配合

仕込容器ハ從來ノ桶ニシテ其容量ハ二十石内外ナリ而シテ仕込原料ノ配合ハ左ノ如シ

仕 込 號	大豆	脫脂大豆 貢	小 麥	鹽 斤	仕 込 水 石	要 摘
(イ) 號	一 一四〇・〇〇〇	五〇〇	八四四	一〇・〇〇〇	脫脂大豆使用、壓力十封度ノ二時間蒸熟	
(ロ) 號	一 一四〇・〇〇〇	五〇〇	八四四	一〇・〇〇〇	脫脂大豆使用、無壓ニテ七時間蒸熟	
(ハ) 號	五〇〇〇	五〇〇	八四四	一〇・〇〇〇	大豆使用ハ加壓蒸熟法(イ)號ニ同ジ	

### 四、仕込原料ノ處理

#### 大豆及脫脂大豆ノ蒸熟法

大豆ノ蒸熟法ハ風選シ更ニ水洗シテ土砂及夾雜物ヲ除去シ溫浸法ニヨリ浸漬シタル後加壓罐ヲ以テ十封度ノ壓力ニテ二時間蒸餾シ密閉ノマ、翌朝マテ留熟セシメタリ又溫浸ノ方法ハ裝置セル加壓罐ニ所要ノ大豆ヲ入レ一・五倍ノ水ヲ注加シ蒸氣ヲ通シ徐々ニ加温シテ攝氏四十度ノ溫度ニテ二時間半浸漬シテ後餘分ノ水ヲ抽出シテ蒸熟工程ニ移レリ而シテ一回ノ蒸熟大豆量ハ二石五斗ナリ

脫脂大豆ノ蒸熟法ハ撒水法ニヨリ適當ニ吸水膨脹セシメタルモノヲ拔掛法ニヨリ少量宛數回ニ分チテ輕ク投入シ豆層表面ヨリ充分ニ蒸氣噴出シタル後加壓蒸熟法ニ在リテハ加壓罐ノ蓋ヲ密閉シ十封度ノ壓力ニテ二時間蒸餾シ又無壓蒸熟法ニ在リテハ加壓罐ノ蓋ヲ密閉スルコトナク靜置シテ輕ク蒸氣ヲ通シテ七時間蒸

餾セリ斯クテ何レモ其儘翌朝マテ留熟セシムルコト大豆ノ場合ニ同シ而シテ蒸熟前ニ於ケル撒水方法ハ第二回試醸(醸造試験所報告第八十號六三一六四頁)ノ分ト同様ナリ但シ今回ハ氣候寒冷ニシテ腐敗ノ虞ナキヲ以テ前日撒水法ヲ行ヒタルマ、放置シ翌日之ヲ蒸餾セリ撒水量ハ脫脂大豆七十貫ニ對シ一石九斗ヲ使用セリ

#### 小麥ノ炒煮及割碎

#### 小麥ノ炒煮及割碎程度ハ普通ニシテ特記スペキモノナシ

#### 鹽水ノ調製

鹽水ハ冷水溶解法ニヨリ全ク溶解シタル後鹽水一石ニ付二合ノ割合ニ柿澃ヲ混加シ一夜靜置シテ充分清澄セシメタル後仕込ニ使用セリ但シ鹽水ノ濃度ハ母氏十九度トセリ

#### 五、製麴

麴ハ二底盛法ニ依リテ製麴セリ而シテ出麴ノ品質ハ毎回良好ト認メタリ但シ本製麴ニ使用シタル種麴ハ本所ニテ實地試験ノ結果優良ナリト認メタル「アスペルギルス、オリゼー」ノ變種第一九二號ヲ用ヒ大豆、小麥ヲ原料トシテ製造シタルモノニシテ元石一石又ハ同相等量ニ對シ九十匁ノ割合ニ使用セリ左ニ毎回出麴ノ重量及製麴溫度ノ經過表ヲ示ス

(出麴ノ重量)

第一 回 號	第一 回 貢		第二 回 貢	
	一 一三七・四〇〇	一 一三七・〇〇〇	一 一五一・〇〇〇	一 一三七・〇〇〇

脫脂大豆蒸熟ノ方法及程度比較試験

(製麴溫度ノ經過表)

(六) 號  
一五一·五〇〇

400

# 第一回(イ)號仕込用製麺経過表

室溫

濕度

外氣

摘要

同 同 同 二月三日

同 同 同 同 同 同 同 同 同  
四 日

三	後	十一時	十八時	六時	前二時	十一時半	九時半	七時	六時	同四時	牛	後一時半	前十一時	時刻
時	一時	半	時	時	時	半	半	時	時			半	時	刻

同 同 同 同 同 同 晴 同 同 同 同 雪 天  
降 候

品溫	三三〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二七五	二八五	三〇〇	三七〇	三九五	四一〇	三六〇	三七〇	四二〇
106	133	126	126	126	126	126	126	127.5	128.5	130.0	137.0	139.5	141.0	136.0	137.0	142.0

室溫  
二四〇  
二五〇  
二八〇  
二九五  
二七五  
二八五  
三〇〇  
三三〇  
三四〇  
三一〇  
二六〇  
二八〇  
三三五

濕度  
二二〇  
二三〇  
二四〇  
二九〇  
二四〇  
二五〇  
二四·五  
二六·五  
二六·五  
三〇〇  
三一·五  
三一〇  
二四·〇  
二六·五  
三三〇

同 同 同 同 同 同 同 同 五 四 同 同 四 五 五 外  
● ○ ● ○

摘要 盛込終り

同終リ

同終  
九

出  
類



釀造試驗所報告第八十九號

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
九 日 八 日

四 前 十 九 六 五 二 後 十 十 八 七 五 三 前 十 七 五 三  
時 二 一 時 一 二 時 一 時 一 時 一 時 一 時 一 時 一 時 一 時  
半 時 時 時 半 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時

同 晴 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

二四・五  
二九・〇  
三〇・五  
三二・五  
三五・五  
四一・〇  
四二・〇  
三六・〇  
四〇・〇  
四二・〇  
三七・〇  
三八・〇  
三七・〇  
三六・〇  
三七・〇  
三七・〇

二六〇 二九五 二八〇 二八八 二九〇 二九五 二九〇 二九五 三〇二 三二八 三二〇 三二〇 二三〇 二二〇 二五〇 一九〇 一九〇 二三〇 二三〇 二三五 二三五 二三〇 二三〇 二三五 二三〇 二四〇 二三〇 二三五 二三〇 二四五

二四〇 二八〇 二六〇 二八〇 二六〇 二八〇 二八〇

同 同 同 同 同 同 同 一 三 三 八 四 五 五 六 八 八 五

同終リ  
天窓ヲ開ク  
二番手入始メ  
同終リ

同 同 同 同 二月 月 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
脫 二月九日 日 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

脱　　日　日　　日

程度比 同 同 同 同 晴 天 ) 號 同 同 同 晴 同 同 同 同 同 同 同 同

製麴經過 品溫	二六〇	二六〇	二五〇	二五〇	三〇〇	三〇〇	三八二	三二〇	三四〇	三六〇	三八五	三八〇	三九〇	三九〇	三八〇	三三〇	三五〇
------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

二七〇 二六〇 二四〇 二三〇 二五〇 室溫 一〇〇 二五·五 二九〇 二九〇 三〇〇 二七·五 二七〇 二七〇 二四〇 二〇〇

二五〇	二四〇	二三〇	一八〇	二〇〇	溫度	一九·五	二三·五	二八〇	二八〇	二九〇	二六〇	二六〇	二五〇	二五〇	二三〇	一八〇	一八〇
-----	-----	-----	-----	-----	----	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

同 同 同 同 九〇 外氣 | | 同 同 同 同 九〇 | | | |

出  
數  
要

同	同	同
同	十日	八時
十二時	後十時	同
同	同	同
三一五	二八五	二七五
三〇〇	二七五	二七五
二九〇	二六〇	二六〇

一番手入始メ  
同終リ

蒸氣ヲ通ズ

同	同	同	同	同	同	同
同十二日						
十五時	五時	前二時	十一時	七時	五時	三時
同	同	晴	同	同	同	同
三六〇	三五〇	三五・五	三七・〇	三四・〇	三三・〇	三一・〇
三〇・〇	二八・八	二八・〇	二七・〇	二五・〇	二四・〇	二三・〇
二八・五	二七・〇	二七・〇	二六・〇	二四・〇	二二・〇	二一・〇
同	同	同	同	同	同	同

出  
卷

摘要

## 脫脂大豆蒸熟ノ方法及程度比較試験



## 六、仕込及諸味ノ攪拌

諸味ノ製造ハ各號何レモ左ノ如クニ回ニ分チ十一石ノ鹽水ニ仕込ミタリ

第一回		第二回		計	
元石相當量	(イ)號	元石相當量	(ロ)號	元石	(ハ)號
貫		貫		貫	
仕込月日		仕込月日		仕込月日	
七〇・〇〇〇	二月六日	七〇・〇〇〇	二月八日	七〇・〇〇〇	二月十日
一四〇・〇〇〇		一四〇・〇〇〇		一四〇・〇〇〇	
				一〇・〇〇	二月十二日
				五・〇〇	二月十四日
				五・〇〇	二月十六日

諸味ノ攪拌ハ普通ノ如ク權ヲ以テ之ヲ行ヒ其回數ハ諸味經過表所載ノ如シ左ニ諸味仕込後熟成ニ至ル經過表ヲ示ス但シ約十日間毎ニ検測シタルモノトス

(イ) 號仕込

月	日	天候	室温	品温	諸味ノ深サ
同	同	同	二八	一八	攪拌前
二七	一七	同	八	七〇	攪拌後
同	蚕	同	八・五	五・八	
八・五	一〇・〇	同	八・八	四・〇〇	
八・三	七・九	三・九三	八・〇	四・〇〇	
三・九〇	三・八七	三・七五	三・九二	三・九二	
三・九〇	三・八六	三・七四	三・八六	三・八六	
一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	〇・〇一	差數
三月十一日ヨリ隔日ニ	本日仕込留毎日一回午後攪拌ヲ 爲ス	摘要			
攪拌ヲ爲ス	三月十一日ヨリ隔日ニ一回午後	要			

## 脫脂大豆熟成ノ方法及程度比較試験

本日ヨリ毎日一回午後攪拌ヲ爲ス

酒類醸酵ノ模様アリ  
六月五日頃ヨリ明ニ酒類醸酵ヲ爲ス

一〇	同	同	九	同	同	八	同	七	同	同	六	同	同	五	同	同	四
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	
雨	曇	同	晴	曇	同	晴	曇	晴	同	曇	晴	曇	雨	同	同	晴	
二〇	五	二三	〇	二七	〇	三五	二七	〇	二八	〇	四五	二八	〇	二〇	五	二五	
二〇	〇	二一	五	二二	〇	二四	〇	二七	〇	二五	五	二三	〇	二三	〇	一七	
二〇	〇	二一	五	二二	〇	二四	〇	二七	〇	二五	五	二三	〇	一九	〇	一七	
三九	〇	三九	五	四〇	六	四一五	四一二	四一七	四一八	四一九	四〇六	四二〇	三九	三八七	三八五	三八一	
三八七	〇	三八七	七	三九〇	八八	三九三	九八	三九三	九八	三九三	九八	三九〇	六	三九七	八〇	三八一	
〇	〇	三八七	七	三九〇	八八	三九三	九八	三九三	九八	三九三	九八	三九〇	六	〇	一四	三八五	
〇	〇	三八七	七	三九〇	八八	三九三	九八	三九三	九八	三九三	九八	三九〇	六	〇	一四	三八八	

酒類醸酵殆ト終リ  
十一月一日ヨリ三日目ニ一回午後攪  
拌ナ爲ス

本日ヨリ六日目ニ二回午後攪拌ナ爲ス

本日ヨリ六日目ニ二回午後攪拌ナ爲ス

本日諸味量ヲ査定ス

摘

要

本日仕込留毎日一回午後攪拌ナ爲ス

二	月	同	同	同	二	同	同	同	同	一	同	同	二	同	同	大正二年
二六	日	二七〇	四四八	二二四	七八三	二〇	二三〇	二〇	二三〇	二	二三〇	二〇	二三〇	二〇	二三〇	二〇
同	晴	曇	同	同	同	同	晴	曇	同	同	晴	曇	雨	同	同	晴
七〇	室温	一六〇	一三〇	一二五	八〇	五〇	五〇	四〇	五〇	一三〇	六〇	一四〇	一五〇	一七五	二〇〇	一五五
六六	品温	一一〇	一〇〇	八六	五五	四〇	四〇	五五	五三	一〇〇	八〇	九〇	一三〇	一六五	一七五	一〇六
四二	四尺攪拌前	三六〇	三六〇	三五七	三六二	三五八	三六二	三五六	三六〇	三六七	三七七	三八一	三八二	三八二	三八三	三八八
四二	四尺攪拌後	三六〇	三六〇	三五七	三六二	三五七	三六一	三五六	三六〇	三六七	三七六	三八〇	三八二	三七九	三八一	三八五
一	差數	一	一	一	一	〇	〇	一	一	一	一	〇	〇	一	〇	一

本日ヨリ毎日一回午後攪拌ヲ爲ス

六月三日頃ヨリ明ニ酒精醸酵ヲ爲ス  
酒精醸酵ノ模様アリ

九	同	同	八	同	七	同	同	同	六	同	同	五	同	同	四	同	同	同	三
-	二	〇	一	二	〇	三	〇	二	一	二	〇	一	二	〇	一	二	九	一	
疊	同	晴	同	同	疊	晴	疊	同	晴	疊	同	同	同	同	同	晴	雨		
二	七	〇	二	八	〇	二	九	〇	二	八	〇	二	九	〇	二	〇	九	〇	
二	七	〇	二	八	〇	二	四	五	二	八	〇	二	三	〇	二	〇	八	五	
二	五	六	二	七	五	二	五	五	二	六	五	二	二	〇	二	〇	七	五	
四	三	五	四	四	一	四	二	七	四	三	六	四	二	三	四	一	〇	一	
四	一	一	四	一	八	四	二	〇	四	一	六	四	一	七	四	一	〇	一	
〇	一	四	〇	〇	二	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	七	

十一月一日より三日目ニ一回午後攬  
拌チ爲ス

本日ヨリ六日目ニ二回午後攪拌ヲ爲ス

本日仕込留毎日一回午後攪拌ヲ爲ス  
摘要

三月十一日ヨリ隔日ニ一回午後懶弁  
チ爲ス

卷之三

六月十五日頃より明ニ酒精醸釀ヲ爲ス

同	七	同	同	六	同	同	五	同	同	四	同	同	三	同	二	月	
二〇	一〇	三〇	一〇	一〇	—	一〇	一〇	一〇	一〇	一	一九	一〇	一	一八	一七	日	
同	晴	曇	晴	曇	雨	晴	同	同	同	同	同	同	晴	雨	晴	曇	天候
二八	三三	二一	二一	二五	一七	三三	一九	五	二〇	五	一八	一五	五	一〇	九	七	室溫
二六	三二	二三	二一	二〇	一八	一九	一八	四	一七	五	一四	一五	八	七	九	五	品溫
四三六	四三三	四二三	四〇八	四〇六	四〇五	四〇五	四〇五	四〇四	四一〇	四〇四	四〇三	四〇六	七	〇八	一五	一七	攢拌前
四一八	四一五	四二〇	四一八	四〇八	四〇五	四〇五	四〇四	四〇四	四一〇	四〇三	四〇四	四〇六	七	〇七	一五	一七	攢拌後
〇一五	〇一七	〇二	〇〇五	〇一	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	—	〇〇一	—	—	差數

十一月一日ヨリ三日目ニ一回午後攬  
拌チ爲ス

本日ヨリ六日目ニ二回午後攪拌ヲ爲ス

## 脫脂大豆蒸熟ノ方法及程度比較試驗

二 同	四 同	八〇 一二・五	五・五 八・五	三・八二 三・八一	三・八二 三・八一
同	二四 曼	一六〇 一二・〇	三・八八 〇・〇一	三・八七 〇・〇一	本日諸味量ヲ査定ス

## 七、諸味ノ熟成及壓搾

## 諸味ノ熟成

仕込後満一ヶ年ヲ經過シタルヲ以テ大正十一年二月二十四日熟成諸味量及同諸味一斗ノ重量ヲ検セシニ左ノ如シ

熟成諸味全量 石	熟成歩合	諸味一斗ノ重量 貫
一四・二八七 石	一・四三	五・七〇〇 貫
一四・九七一 石	一・五〇	五・七二〇 貫
一四・七九三 石	一・四八	五・六八〇 貫

## 諸味ノ壓搾

諸味ハ水壓機ヲ以テ二晝夜間壓搾セシニ其成績左表ノ如シ但シ壓搾時ノ最高壓力ハ千五百封度ナリ

壓搾諸味量 石	搾汁垂量 石	垂步合 石	粕量 貫	粕歩合 貫	搾汁一斗ノ重量 貫
(イ) 號 六・二八七	五・一〇四 石	〇・八一二 石	六九・八〇〇 貫	一一・一〇二 貫	五・七四〇 貫
(ロ) 號 六・九七一	五・四五七 石	〇・七八三 石	六六・七〇〇 貫	九・五六八 貫	五・七五〇 貫
(ハ) 號 六・七九三	五・〇六八 石	〇・七四六 石	六〇・〇〇〇 貫	八・八三二 貫	五・七〇〇 貫

今前記ノ垂歩合ニヨリ熟成諸味全量ニ對スル總垂量ヲ算出スレハ左ノ如シ

熟成諸味全量  
石

前記垂歩ニ依リ算出シタル量  
石

## (イ) 號

一四・二八七  
石

一一・五八六  
石

## (ロ) 號

一四・九七一  
石

一一・七二二  
石

## (ハ) 號

一四・七九三  
石

一一・〇三五  
石

右ノ如ク脱脂大豆使用ノモノハ之ト同種ノ大豆ヲ使用シタルモノニ比シ垂量多キコトニ於テ前回試験ノ結果ト一致セリ

## 八、製成及鑑評

## 製成

搾汁セル醤油ハ生漬ヲ引キ大正十一年三月十四日火入罐ヲ以テ攝氏達溫六十度ニテ火入ヲナシ直ニ清澄桶ニ移入シテ五日間清澄漬引ヲ行ヒシニ其製成成績次ノ如シ

製成醬油量 石	火入塗量 石	製成醬油母氏比重 度
(イ) 號 四・五四三	〇・二五〇 石	二四・〇
(ロ) 號 四・八六九	〇・一八〇 石	二三・五
(ハ) 號 四・二二五	〇・三五〇 石	二二・三

右ノ如ク脱脂大豆使用ノモノハ之ト同種ノ大豆ヲ使用シタルモノニ比シ火入塗量少キコトニ於テ第一回及第二回試験ノ結果ト一致スルヲ見ルベシ

今前記ノ成績ニ依ル熟成諸味全量ニ對スル製成醬油量及其仕込元石一石當ノ製成歩合ヲ算出スレハ左ノ如シ

(イ) 號	一〇・三二三	熱成諸味全量ニ對スル製成醤油量	其仕込元石一石當ノ製成醤油量	同上製成醤油ノ(ハ)號ニ對スル増產量
(ロ) 號	一〇・四五五		一・〇三二	
(ハ) 號	九・二〇〇		一・〇四五	○・一二五
			○・九二〇	○・一二二

右ノ如ク脱脂大豆ヲ使用シタルモノハ之ト同種ノ大豆ヲ使用シタルモノニ比シ概シテ製成醤油ノ生産量ニ於テ一割以上多量ナルコトハ注目ニ值スベシ

## 鑑評

製成醤油ハ大正十一年四月及六月ニ於テ夫々本所員及嘱託員ノ鑑評ニ附シタリ鑑評ノ方法ハ從來ト同シク暗號ヲ符シ喇味法ニヨリテ採點セリ其結果左表ノ如シ

## (本所員ノ鑑評成績)

(ロ) 號	各人ノ點數ニヨル順位				各人ノ平均順位	各人ノ順位數ニヨル平均順位
	甲	乙	丙	丁		
(イ) 號	二	一	二	一	二	二
(ロ) 號	一	一	一	二	一	二
(ハ) 號	三	一	一	三	三	一
(嘱託員ノ鑑評成績)	各人ノ點數ニヨル順位	各人ノ平均順位	各人ノ順位數ニヨル平均順位			
(イ) 號	甲	乙	丙	丁	二	二
(ロ) 號	二	一	二	一	一	二
(ハ) 號	一	二	二	二	三	一

右ノ鑑評成績ニ依レハ脱脂大豆ヲ使用シタルモノハ之ト同種ノ大豆ヲ使用シタルモノニ比シ製品ノ品質優良ナリト明言シ得ベシ而シテ本所員ノ鑑評成績ト嘱託員ノ鑑評成績ト符節ヲ合スルガ如ク相一致セシハ寧ロ奇ト云フベシ

以上試験ノ結果ヲ綜合シテ脱脂大豆使用ノモノト之ト同種大豆使用ノモノトニ就キ其成績ヲ比較表示スレバ左ノ如シ

脱脂大豆使用		同種大豆使用	
製品ノ品質	寧ロ優良	多少劣下	
諸味ノ熟成歩合	稍々少シ	稍々多シ	
諸味ノ垂歩合	多シ	少シ	
製成醤油量	少シ	少シ	
火入重量	多シ	多シ	
製品ノ濃度	稍々濃厚	稍々稀薄	

## 九、結論

本試験ノ結果ニ依レハ脱脂大豆ハ之ヲ蒸熟スルニ特ニ壓力ヲ加フルト否ラサルトハ其蒸熟ノ程度ヲ過ラサルニ於テハ製品ノ品質ハ勿論諸味熟成ノ遲速及其熟成歩合、諸味ノ垂歩合等大差ナキガ如シ

又脱脂大豆ト之ト同種大豆トハ製品ノ品質ニ於テ大差ナク寧ロ前者ヲ使用シタルモノ概シテ優良ナルガ如シ其他諸味ノ熟成比較的早キコト及熟成諸味ノ垂歩合等ニ於テモ亦前者有利ナルガ如シ之ヲ要スルニ脱脂大豆ヲ使用スルト之ト同種ノ大豆ヲ使用スルトハ品質上及經濟上何レモ前者ノ優良ナルコトハ全ク第一回(大正二年十二月施行)及第二回試験(大正十一年六月施行)ノ結果ト相一致スルヲ見ル  
(完)

(大正十一年七月報告)

## 米國加州產米使用釀造試驗

本報告ハ釀造試験所技師江田鎌治郎、同技手井上勇吉ノ提出ニ係リ其ノ目的方法及ビ結果左ノ如シ

### 試験ノ目的

清酒釀造原料トシテ米國加州產米ノ適否

### 試験ノ方法

米國加州產米ハ麻袋詰メトナリタル白米其ノ儘ノモノ又ハ再精白ヲナシタルモノヲ麴、酒母、醪ノ全部ニ使用シ酒母ハ便宜山卸廢止醸及ビ速釀醸法ニ依リテ試験シタリ

### 試験ノ結果

清酒釀造原料トシテ米國加州產米ノ成績ハ優良ニシテ内地備前米ヲ使用シテ釀造シタル清酒ニ比シ格別遜色ナシ

## 緒 言

先年本所ニ於テ外國米ノ試験ヲ行ヒタルハ普通南京米ト稱セラル、蘭貢米、西貢米、東京米等ニシテ此等ハ既ニ一般ニ知ラル、ガ如ク其ノ質甚ダ堅硬ニ失シ到底其儘ニテハ酒造ニ適セザルガ故ニ特ニ撒水蒸餾又ハ乾燥處理乃至ハ鹽酸浸漬等ノ如キ適當ナル處理法ヲ施スヲ必要トシ此ノ如クシテ始メテ普通程度ノ清酒ヲ得ルコトヲ究メ得タルモ此等外米ハ未ダ以テ醇良酒ヲ釀成スルコトノ至難ナルノミナラズ殊ニ製麴用酒母用トシテハ尙不充分ナルヲ免レザルノ憾アリシコトハ大正八年八月本所報告第七十七號ニ於テ發表シタルガ如シ然ルニ偶々昨夏大正十年ノ米作ハ豐穰ナラズ平年ヨリハ幾分減收ヲ豫想セラレタル結果米價昂騰シ米國加州產米ノ輸入セラル、モノ漸ク多カラントスル傾向アリシガ故ニ本所ニ於テハ率先シ右加州產米ヲ使用シテ酒造ノ實驗ヲ行フコト、シ同年九月中直ニ加州產古米(大正九年產)ヲ以テ豫備試験ニ着手シタリシニ其ノ品質ハ曩ニ試験セラレタル外米トハ霄壤ノ差ニテ外觀色澤良好ニシテ心白米ノ割合多ク約八〇%ナリシコト及ビ浸漬蒸餾ノ容易ニシテ之ヲ飯米トシ若ハ蒸米トシタルモノ、成績良好ナリシコト等ハ殆ンド内地產米ト徑庭ナキ良質ノモノナリシガ上ニ之ニテ製麴酒母醪ノ實驗ヲ行ヒ其ノ適良ナルコトヲ認メタルヲ以テ更ニ加州產新米(大正十年產)ヲ使用シテ大正十年十二月以來普通ノ仕込量ニ於テ實地試釀ニ着手シ大正十一年四月迄ノ間ニ山卸廢止配四個速釀配四個醪五個ヲ製造シタリシニ其成績ハ略ボ小試験ノ結果ト一致シ何レモ良好ニシテ同時期ニ釀造セラレタル内地產備前米使用ノ清酒ニ比シ格別遜色ナキモノヲ得タルノミナラズ實地操作ノ如キモ内地米使用ノ場合ト殆ンド異ナルナキヲ以テ左ニ其ノ試験ノ梗概ヲ報

## 告セントス

## 大正十年產加州米理學的性狀

- (一) 外觀色澤 磨擦米ニシテ硝子様光澤アリ粒狀豐肥中粒ニ屬シ往々不透明ナル粋米及碎米ヲ含有スルモ其ノ量多カラス之レヲ本邦產白米ニ比スルニ微ニ黃褐色ヲ帶ヒ概評中ノ中程度ニ位スルモノト認ム
- (二) 完全粒以外ノモノ 百瓦中 八・五瓦 一八・五%
- (三) 百瓦ノ容量 一一七・〇cc
- (四) 心白米ノ割合 二八・〇%
- (五) 粒ノ整齊 厚サ 二・二耗 同 二・〇 同 二・三  
同 一・八 同 二・四 同 二・六  
同 一・八 以下ノモノ 三・〇 同 二・〇  
長サ平均 五・一六九耗 最大 五・五五耗 最小 四・五〇耗  
巾平均 三・〇一二耗 最大 三・二〇耗 最小 二・七五耗
- (六) 硬度 (五十粒) 五〇〇——一・〇〇〇勿 三四粒

一・〇〇〇 一・五〇〇匁 一六粒  
平均 八八六匁 最大 一四五五匁 最小 五五〇匁

(七) 比 重 一・四三八八

(八) 千粒ノ重量 二二・三瓦

(九) 千粒ノ容積 一五・五五cc.

尙参考ノ爲大正十年產内地酒造適米二十三種ニ付調査ノ結果ニ依レバ左ノ如シ

完全粒以外ノモノノ%	平均 七・三九	最大 二二・六	最小 ○・六
心白米ノ%	平均二九・九	最大 八三・〇	最小 一・〇

此ノ中ニ付キ數種ノ例ヲ示サハ(心白米%)

備前米 一三・〇%

同	八三・〇
同	二五・二
秋田米	一六・八

播州米	八〇・二
攝津米	一七・六

「備考」大正九年產ノ加州白米ハ心白米ノ割合八〇%ニシテ白色硝子様ヲ呈シ外觀美ナリシモ理化學的調査ヲ缺グ……(以上佐藤技師調査)

### 加州米化學的成分

水 分	一三・一六四
粗蛋白質	八・一〇〇
粗脂肪	○・三三二
直接還元糖	二・九八〇
糊 精	四・〇六八
澱 粉	七〇・一二七
灰 分	○・三三九

「備考」本調査ハ渡邊研修員ノ行ヒタルモノナリ  
(附記) 加州產米買入當時一石當重量 三九・八五〇貫

同再精白搗減 ○・〇六九

### (一) 浸漬及蒸餾

右加州產米ノ浸漬及蒸餾ハ大體備前米ノ如クニテ可ナルヲ認メタルモ観出シ後溫度ノ高キ間ハ微カニ包裝麻袋臭氣(南京米袋様ノ臭氣)アルモ冷却ト共ニ殆ンド感ゼザルニ至ル加之備前米ニ比スル時ハ蒸米トシテノ粘著性幾分乏シ

### (二) 製麴

製麴ノ方法ハ從來本所ニ於テ行ヒタル如クシ尙比較ノ爲メ備前米使用ノモノト同時ニ引込ミ試験シタルニ之レガ製造経過並ニ香味破精工合等ハ大差ナカリシヲ認メタルモ尙ホ糖化試験ヲ行ヒタル結果左ノ如シ

第一回 糖化試驗

便宜上左ノ二方法ニヨリテ試験シタリ

(イ) 麴各一〇〇瓦宛ヲ内容五〇〇ccノエルレンマイヤー氏罐ニ採取シヰ水三〇〇ccヲ添加シ百回振盪シ攝氏三〇度ノ孵卵器ニ靜置シ其ノ間二回振盪シ三十六時間ノ後濾過シタル濾液ニ於テ試験シタリ

番號	越幾斯	總醣
糖分	比重	備前米(掛麪)
〇・六〇〇〇	一四・九八〇	備前米(掛麪)
〇・七〇〇〇	一五・九八〇	備前米(掛麪)
〇・六〇〇〇	一六・八〇〇	備前米(掛麪)
〇・六〇〇〇	一六・六二〇〇	備前米(掛麪)
〇・六〇〇〇	一一・二六〇〇	備前米(掛麪)
〇・六〇〇〇	一二・三四〇〇	備前米(掛麪)
〇・五〇〇〇	一〇・四二〇〇	備前米(醸麪)
〇・五〇〇〇	一〇・四七五〇	備前米(醸麪)
〇・五〇〇〇	六・一六〇〇	加州米(醸麪)
〇・五〇〇〇	六・七七〇〇	加州米(掛麪)
〇・三五〇〇	一三・八一〇〇	加州米(掛麪)

第二回 糖化試験

備前米(掛麵)	一七・九二六〇
一七・七八五	○・八六〇〇
一七・六八一〇	○・八四〇〇
一五・一六二〇	○・七五〇〇
一六・〇八九〇	○・八〇〇〇
一五・一一六〇	○・六三〇〇
一四・〇一六〇	○・四一〇〇
一四・七六三〇	○・四一五〇
備前米(掛麵)	一七・七八五
一七・七八〇	○・八四〇〇
一五・一六二〇	○・七五〇〇
一六・〇八九〇	○・八〇〇〇
一五・一一六〇	○・六三〇〇
一四・〇一六〇	○・四一〇〇
一四・七六三〇	○・四一五〇
備前米(掛麵)	一七・九二六〇
一七・七八五	○・八六〇〇
一七・六八一〇	○・八四〇〇
一五・一六二〇	○・七五〇〇
一六・〇八九〇	○・八〇〇〇
一五・一一六〇	○・六三〇〇
一四・〇一六〇	○・四一〇〇
一四・七六三〇	○・四一五〇

(11) 酒母

## (1) 原料配合

蒸米麴汲水

清酒酵母(第一號)

酒母種別

米國加州產米使用穠造試驗

米種

第一號 備前米  
第二號 加州米  
第三號 備前米  
第四號 加州米

## (ハ) 酸酵經過

前記ノ酒母ハ比較用トシテ第一號及び第三號ニハ備前米ヲ使用シタルノ外凡ベテ同一條件ノ下ニ於テ試験スルコト、大正十年十月一日速醸配製造ノ形式ヲ執リ攝氏二二度ニ仕込ミ一九一、二二・五度ノ常温ニ於テ酸酵セシムルコト八日間ノ後之ヲ第二回ノ醪ニ使用セリ之が成績左ノ如シ

第一號酒母分析成績表(備前米使用)

調査時期	酒	精	越幾斯	總酸	揮發酸	不揮發酸	糖分	比重
八日目	一四・二〇〇〇	六・二八〇〇	〇・四〇一二	〇・〇六〇〇	〇・三八六四	一・五七二〇	一・〇〇二二	
十二日目	一五・二〇〇〇	三・五一〇	〇・三八三五	〇・〇六三四	〇・三六八二	〇・八三六〇	〇・九九八五	

第一號酒母細菌調查表

調査時期	酵母數 (○・五%メチレンブ ラウ青染色率(%))	香味	酸度	酸度 ガーリング度數	麴汁	醣酵	試驗	外觀
八日目	三六六・四〇〇	一〇	上ノ中	二・一	〇・八	同	見玉ズ	清澄
十二日目	四〇〇・〇〇〇	一五	上ノ中	二・七	一・〇	同	同	同

第二號酒母分析成績表(米國米使用)

調査時期	酒	精	越幾斯	總酸	揮發酸	不揮發酸	糖分	比重
八日目	一六・四〇〇〇	五・一八三〇	〇・三四八一	〇・〇三三六	〇・三三九八	一・〇五六〇	一・〇〇二二	
十二日目	一六・四〇〇〇	三・一三八〇	〇・三五四〇	〇・〇五二八	〇・三四一〇	〇・六四〇〇	〇・九九五五	

同 細菌調查表

調査時期	酵母數 (○・五%メチレンブ ラウ青染色率(%))	香味	酸度	酸度 ガーリング度數	麴汁	醣酵	試驗	外觀
八日目	三三三・三一〇	一二	上ノ中	二・五	〇・八	見玉ズ	バクテリア見玉	微潤濁
十二日目	四一〇・〇〇〇	一六	中ノ下	五・七	一・二	バクテリア見玉	同	潤濁

第三號酒母分析成績表(備前米使用)

調査時期	酒	精	越幾斯	總酸	揮發酸	不揮發酸	糖分	比重
八日目	一五・八八〇〇	五・八七二〇	〇・三七一三	〇・〇五〇二	〇・三五八九	一・一七二〇	一・〇〇五〇	
十九日目	一五・五〇〇〇	二・三一七〇	〇・四三六六	〇・〇七四四	〇・四一八三	〇・一八三六	〇・九九六五	

同 細菌調查表

調査時期	酵母數 (○・五%メチレンブ ラウ青染色率(%))	香味	酸度	酸度 ガーリング度數	麴汁	醣酵	試驗	外觀
八日目	三九三・二〇〇	一二	中ノ上	三・〇	〇・八	バクテリア見玉	バクテリア見玉	微潤濁
十九日目	四二六・六四〇	二五	中ノ上	三・三	〇・八	バクテリア見玉	同	

第四號酒母分析成績表(米國米使用)

調査時期	酒	精	越幾斯	總酸	揮發酸	不揮發酸	糖分	比重
八日目	一五・四五〇〇	四・一二一〇	〇・三一八六	〇・〇五五二	〇・三〇五〇	〇・六八〇〇	〇・九九七五	

十九日目

## 同 細菌調査表

調査時期	酵母數 ○・五%メチレンプ ラウ青染色率(%)	香味	酸度 ボーリング度數	酵試驗
八日目	三六〇・〇〇〇	一二	中ノ上	三・三 ○・八
十九日目	四二〇・〇〇〇	二七	中ノ上	三四 一〇 同 $\frac{5}{100}$

## (四) 酸

第一回醪ハ便宜清酒酵母ト乳酸トヲ應用シテ大正十年十月一日ニ仕込ヲ行ヒ第二回ハ前記熟成酒母ヲ使用シテ同九日ニ仕込ヲ行ヒタルガ何レモ氣温關係上仕込溫度ハ一七度ヲ下ラズ一八度ヨリ二二・五度ノ常温ニ於テ酸酵セシムルコト一〇日間ノ後之ヲ濾過シテ比較セリ之レガ原料配合、種別等ノ試験成績ハ左ノ如シ

## (イ) 原料配合

	第一回	第二回
蒸米	〇・〇一五〇	〇・〇一五〇
麹米	〇・〇〇四四	〇・〇〇四四
汲水	〇・〇二二五	〇・〇二二五
清酒酵母又ハ酒母	三〇〇cc (培養液量二) 二・一cc	酒母 三〇〇cc

## (ロ) 酿種別

第一回	第二回
第一號 備前米	第一號 備前米
第二號 加州米	第二號 加州米
第三號 備前米	第三號 備前米
第四號 加州米	第四號 加州米

(ハ) 同分析成績表並細菌調査表  
但シ第一回中第三號及第四號醪ノ成績表ヲ缺ク

## 第一回第一號醪分析並細菌調査表(備前米使用)

調査時期	酒精	越幾斯	總酸	揮發酸	不揮發酸	糖分	比重	酵母數 ○・五%メチ レン青染色率(%)
八日目	一三・六〇〇〇	六・八〇三〇〇・二〇〇六〇・〇三三六〇・一九二三	一・八七六〇	一・〇一〇一				
十二日目	一三・五〇〇〇	三・九九五〇〇・二〇〇六〇・〇三六〇〇・一九一八	一・一三六〇〇・九九九〇	三・四六・四〇〇〇				
同	同	第二號醪分析並細菌調査表(米國米使用)						
八日目	一六・四〇〇〇	四・三四九〇〇・一八八八〇・〇三三六〇・〇二五三四	一・一四四〇〇・九九八八					
十二日目	一六・二〇〇〇	二・五八八〇〇・一八八八〇・〇二八八〇〇・一八一七〇・四八〇〇〇・九九二五	三六六・四〇〇〇					

## 第二回

米國加州產米使用醸造試驗

## 第一號醪分析並細菌調査表(備前米使用)

調査時期	酒精	越幾斯	總酸	揮發酸	不揮發酸	糖分	比重	酵母數	○五% 率(%) レ・青染色
十日目	一四・八〇〇〇	五・三七一〇	C・二〇〇六〇	〇・四二二〇	一・九〇〇	一・五二二〇	一・〇三〇〇	三六六・四〇〇	八・
熟成	一六・七〇〇〇	四・七三〇〇	〇・二一三六〇	〇・〇二四六〇	二・一一七	微量	〇・九九一〇	三六〇・〇〇〇	一五・

## 第二號醪分析並細菌調査表(米國米使用)

十日目	一六・〇〇〇〇	四・三一〇〇	一七二一〇	〇・〇三二二〇	一六三四〇	八九六〇	〇・九九五〇	三五三・三〇〇	九・
熟成	一五・五〇〇〇	四・二五二〇	〇・二〇六五〇	〇・〇四九二〇	一・五八一	微量	〇・九九三〇	三八六・六四〇	一九・

## 第三號醪分析並細菌調査表(備前米使用)

十日目	一五・五〇〇〇	五・〇八一〇〇	一九四七〇	〇・〇四八〇〇	一・八二九	一・四二二〇	一・〇一〇〇	三四六・四〇〇	一〇・
熟成	一五・三〇〇〇	四・五三二〇	〇・二三四〇	〇・〇五七六〇	一・六七六	不檢出	〇・九九三〇	三六六・六四〇	一六・

## 第五號醪分析並細菌調査表(米國米再白セザルモノ使用)

十日目	一四・八〇〇〇	三・五九二〇	〇・一七一	〇・〇三二二〇	一六三四〇	九一六〇	〇・九九七〇	三六〇・〇〇〇	九・
熟成	一五・三〇〇〇	三・四一六〇	〇・一八二九	〇・〇五四〇	〇・二九八	微量	〇・九九二〇	三六三・三二〇	一五・

## 第六號醪分析並細菌調査表(米國米再白セザルモノ使用)

十日目	一六・四〇〇〇	五・一二四〇	〇・一八二九	〇・〇二四〇	〇・一七七〇	一・二一六〇	一・〇一五〇	三四六・四〇〇	九・
熟成	一六・七〇〇〇	二・四四八〇	〇・二一〇〇六	〇・〇四二六〇	一・五八七	少量	〇・九九〇〇	三七三・三二〇	一六・

## (ニ)酒質順位

第一回		第二回	
仕込號	品位順	仕込號	品位順
第一號 備前米	二	第一號 備前米	一
第二號 加州米	一	第二號 加州米	三
第三號 備前米	二	第三號 備前米	四
第四號 加州米	二	第四號 加州米	一
第五號 加州米	三	第五號 加州米	二
第六號 加州米	二		

以上ノ如ク小試験ノ結果ハ製麴酒母醪ヲ通ジ加州米ヲ使用シタルモノト備前米ヲ使用シタルモノトハ殆んど差異ナキ好成績ヲ示シタルニヨリ更ニ普通ノ仕込量ニ於テ加州米ノ實地試釀ヲ行フコト、セリ

## 實地試釀

前記豫備試験ニ使用シタル加州產米ハ大正九年產ノ古米ナリシモ本試験ニ供用シタル分ハ大正十年產ノ再精白セラレタルモノニ係ル

大正十年十二月十七日第一回酒母麴ノ引込ニ着手シタルガ之レガ浸漬蒸餾等ハ豫備試験ノ成績ニ鑑ミ大體備前米ヲ使用スル時ト略ボ同様ナラシムルノ方針ヲ執リ水温十四度半ニ浸漬スルコト十四時間更水ヲ行ハ

ズ水切ヲ終ルヤ否ヤ飯ニ持込ミ拔掛法ニ依リ一時間蒸餾シタル後飯出シヲ行ヒタルニ蒸米ハ稍過軟ニ傾キ殆ンド餅狀ニ粘リタルモ敢テ製麴シ得ラレザル程ニモアラザルガ故ニ之レヲ三十六度迄放冷シテ引込ミ製麴シタルニ各操作稍々困難ナリシモ特ニ注意ノ結果出麴後ノ製品ハ中位ノ品質ノモノヲ得タルニヨリ之ニテ第九號ヨリ第十二號ニ至ル山卸廢止配四個ヲ製造スルコト、セリ

引續キ第二回酒母麴製造ノ場合ハ前回ノ成績ニ鑑ミ浸漬時間ヲ短縮シテ九時間トシ且蒸餾三十分钟前水切りヲナシ置キ其他ハ前回ノ如クシテ蒸餾シタルニ今回ハ適當ノ蒸米ヲ得之ニテ製麴シタルニ品質ハ頗ル良好ナルヲ以テ爾餘ノ醸麴ハ之ニ準ジ製造シ何レモ品質優良ナリシコトハ経過表ノ示ス如シ

之ヲ要スルニ加州產米ヲ使用シタル製麴ノ結果ハ良好ニシテ之レト殆ンド同時期ニ製造セラレタル内地備前米使用ノモノニ比シ浸漬蒸餾ヲ始メ製造経過等大差ナキガ如キモ尙嚴密ニ比較スル時ハ左ノ如シ

(一)右加州產米ハ外部軟ナルモ心部ハ稍硬キガ故ニ浸漬時間長キニ過グレバ過軟ニ陷リ餅狀ヲ呈シ製麴操作就中床揉困難トナリ、破精具合良好ナラズ之ニ反シ浸漬時間不足ナレバ硬質米ニ於ケルガ如キ缺點アルヲ以テ浸漬蒸餾等處理法ノ當ヲ得ルコト肝要ナリトス

(二)尙又蒸米ヲヒネリ餅トナシタル時ノ粘リハ備前米ヨリモ幾分少ナク且ッ飯出シ當時熱ノアル間ハ微力ニ包裝麻袋ノ臭氣(俗ニ南京袋香ト稱スルモノ)アルモ冷却ト共ニ殆ンド之ヲ感ゼザルニ至ル

(三)之ハ單リ蒸米ノミナラズ製麴中ニアリテモ切換以後最高溫度頃迄ハ殆ンド同様ノ臭氣ヲ發生シ出麴後冷却ト共ニ全ク之ヲ感ゼザルニ至ル

### 酒母

酒母製造用トシテ加州米ノ適否ヲ知ランガ爲メニ大正十年十二月中山卸廢止配法ニ依ルモノト乳酸應用速釀配法ニ依ルモノト各四個ヲ、製造スルコト、シタリ其成績左ノ如シ

#### 第一回試験

大正十年十二月二十日山卸廢止配第九號ヨリ第十二號ニ至ル四個ノ配立ニ着手シタリ

#### (イ)原料配合

蒸米 五〇〇合 麴米 二〇〇合 汁水 六〇〇合

#### (ロ)浸漬及蒸餾

水温十四度ノ本所井水ニ八時間浸漬シ更水ヲ行ハズ蒸餾三十分前ニ水切リヲナシタルモノヲ拔掛法ニ依リ一時間蒸餾シタルニ酒母味米トシテハ幾分硬キ感アリタルモ其ノ儘適當ノ溫度ニ冷却シテ仕込ニ供セリ

#### (ハ)醸酵経過

右四個ノ酒母ニ使用シタル配麴ハ破精込ミ充分ナラズ配味米ハ幾分硬カリシヲ以テ早湧ニ陷ランコトヲ慮リ仕込溫度ヲ稍低クシ權入ヲ頻繁丁寧ニ行ヒ配立後七日目ニ何レモ熱湯暖氣ヲ挿入シ蓮巻キヲ行ハズ裸ノ儘暖氣廻シタルニ酒母味米トシテハ幾分硬キ感アリタルモ其ノ儘適當ノ溫度ニ冷却シテ仕込ニギリ操作ヲ行ヒ專ラ溶解糖化ヲ促進シ早湧ヲ抑制スルコトニ努メタルノ結果何レモ良好ノ経過ヲ示シ配立後十三日目ニ配分ケトナリタリ

右四個ノ酒母ノ醸酵経過並ニ泡ノ状貌等ハ大體内地米ヲ使用シタルモノト大差ナキモ其ノ當時製造セ

ラレタル備前米使用ノ酒母ニ比較スル時ハ一般ニ泡輕クシテ粘リ氣少ナキガ如シ而シテ聊カ特異トシタル點ハ湧付以後極メテ微カニ石油臭ニ類似スル臭氣ヲ發散シタルコトニテ之ハ熟成後ニ至リテモ尙消失セザリキ

## 第二回試験

大正十年十二月二十一日乳酸應用速釀配法ニ依リ加州米ヲ使用シテ酒母第十六號ヨリ第十九號ニ至ル四個ノ配立ニ着手シタリ

## (イ)原料配合

蒸米	五〇〇合	麴米	二〇〇合	汲水	六〇〇合
乳酸(七五%)	七〇〇cc.	水添ノ際加入			

清酒酵母(第一號酵母)半立(培養液量ニテ表ハス  
日本醸造協會分與ノ酵母半量)

## (ロ)浸漬及蒸餾

酒母ノ味米ハ前回ノ成績ニ鑑ミ多少浸漬時間ヲ延長スルコト、シ水温十六度ニ於テ九時間浸漬シタルノ外ハ凡ペテ前回ノ如クナシタルニ適良ナル蒸米ヲ得タリ

## (ハ)醸酵經過

右酒母ハ何レモ三十度乃至三十・五度ニ仕込ミ荒櫂及二番櫂ヲ充分強クシタルハ勿論爾後ノ櫂入モ一般ニ丁寧ニナシ溶解糖化ヲ優良ナラシムルコトニ努メタルノ結果其ノ成績ハ何レモ良好ニシテ仕込後二十九時間半乃至三十二時間ヲ經テ湧付キ五日目ニ配分ケトナリタリ但シ之レガ醸酵經過ノ稍急激ナ

## シタルコトハ前回ノ場合ト一致セリ

備考 酒母經過表ハ第十二號及第十七號ノ外ハ略ス

酒母分析表(第十二號及第十一  
七號ノ外ハ略ス)大正十年度第十二號酒母(米國米使用  
山卸廢止配)

調査時期	酒精	越幾斯	總酸	揮發酸	不揮發酸	糖分	比重
仕込三日目	-	二一・九二〇	○・〇〇五九	-	-	一一・六〇〇	一〇・九〇〇
麹付	-	二六・六九五〇	○・四四二五	-	-	一五・二〇〇	一・一〇二〇
醸分	一五・一〇〇	八・四一七〇	○・六六七〇	○・〇九一〇	○・五八四〇	一・一三六〇	一〇・一五五
熟成	一六・二〇〇	-	○・六七二六	○・〇六三六	○・六三〇三	○・九七六〇	一・〇〇七〇
枯渇中	一六・七〇〇	五・五七七〇	○・六九〇三	○・〇九七八	○・六八〇七	○・五八〇〇	一・〇〇三〇
同	第十七號酒母 <small>(米國米使用 乳酸速醸配)</small>	-	-	-	-	-	-
	一三・五〇二〇	○・二五九六	-	-	-	-	-
通付	一五・八〇〇〇	八・二五〇〇	○・四八三八	○・〇二六四	○・四七七三	○・九七六〇	一・〇一四〇
醸分	一五・二〇〇〇	六・九六〇〇	○・五四二八	-	-	○・六八〇〇	一・〇一〇
熟成	-	-	-	-	-	-	-

## 米國米酒母細菌調查表(同上)

酒母番號	調査時期	種別	酵母數	○・五%メチレン 青染色率(%)	香味	酸度	ボーリング度數	パクテリア 長桿狀 30/100	外觀 微濁
一二	醸分	山卸廢止醸	三三三・三二〇	-	二二	中ノ上	二六	三・六	-

醸造試験所報告第八十九號

同 熟成	一四二六・六四〇	三二 上ノ中	二・六 一〇 同	四六 (四六)
同 枯シ中	一三二三・三二〇	二一 上ノ中	二・七 一〇 短桿狀 $\frac{1}{100}$	清澄
一七 酸分 乳酸速醸醸	三二〇・〇〇〇	二〇 上ノ中	二・八 一〇 見エズ	清澄
同 熟成	一四二〇・〇〇〇	三〇 上ノ中	二・八 一〇 見エズ	清澄
仕込三日目	一二五・八八四〇 ○・〇二九五	— —	— —	— —
酒付	一六・三四六〇 ○・三七一七	— —	— —	— —
醸分	一五・三〇〇〇 八・四七一〇 ○・五七八二	○・〇八五二	一四・七八〇〇 一・一〇一五	一四・〇六〇〇 一・〇九七〇
熟成	一五・八〇〇〇 六・六七四〇 ○・五五四六	○・〇七九二	一四・八四〇 一・〇一八〇	一五・六九八 二・四八四〇
(参照) 同 第二十六號酒母 (備前米使用、山卸廢止醸)	一三一・二九八〇 ○・二六五五	— —	— —	— —
酒付	一三・六〇〇〇 九・三二三〇 ○・四四八四	○・〇五八二	一三・八六〇〇 一・一一九〇	一三・八六〇〇 一・一一九〇
醸分	一四・〇〇〇〇 七・三二三〇 ○・五〇一五	○・〇三三六	一七七六〇 一・〇二七〇	一四・〇六〇〇 一・〇九七〇
熟成	一四・〇〇〇〇 七・三二三〇 ○・五〇一五	○・〇四九三二	〇・八一六〇 一・〇一一〇	一五・六九八 二・四八四〇
(参照) 細菌調査表 (備前米使用、山卸廢止醸及第二十六號酒母)	— —	— —	— —	— —
調査番號	— —	— —	— —	— —
調査時期	— —	— —	— —	— —
種別	— —	— —	— —	— —
酒母	— —	— —	— —	— —
酵母數	○・五% メチレン青染色率 (%)	— —	— —	— —
山卸廢止醸	三二三・三二〇	一七	上ノ中	香味
熟成	四二三・三二〇	三一	上ノ中	酸度
醸分	三二三・三二〇	一八	上ノ中	ボーリング度数
速醸	三五六・六四〇	二七	— —	パクテリア短桿狀
醸分	三五六・六四〇	一四	同見エズ	パクテリア外觀
速醸	三五六・六四〇	同	同	清澄

二六 熟成 同 酒

四三二・〇〇〇

二九 上ノ中

二・七

一四 同見エズ

同

加州米使用試験ノ爲ニ仕込ミタル醪ハ五個ニシテ大正十年度第四號ヨリ第六號ニ至ル三個ノ醪ハ前記速醸醸第十六號第十七號第十九號ヲ使用シテ大正十一年一月四日ヨリ順々追ヒ隔日ニ仕込ミ第九號醪及ビ第二十七號醪ノ二個ハ工場ノ都合ニ依リ前記山卸廢止醸第十一號乃至第十二號ヲ使用シテ一月十七日及ビ三月二十日ノ兩回ニ仕込ヲ行ヒタリ但シ醪ノ仕込配合量ヨリ仕込溫度權入枝桶使用等ノ實地操作ハ大體此迄本所ニ於テ行ヒタルモノト大差ナキヲ以テ略記スルコト、セリ

(イ) 原料配合

酒母	初添	仲添	留添	計
蒸米	四〇〇	八〇〇	一六〇〇	三・五三〇
麴米	一六〇	三二〇	四八〇	七一〇
汲水	四八〇	九〇〇	二〇八〇	一・六七〇

(ロ) 浸漬及蒸餾

大體酒母味米ノ如クナシタリシガ水温一一・一一三・七度ニ於テ九時間浸漬シ蒸餾三十分前ニ水切ヲナシ蒸餾シタルニ適度ノ蒸米ヲ得タリ

(ハ) 醪ノ経過

第四號ヨリ第九號ニ至ル四個ノ醪ハ何レモ低温仕込ヲ行ヒタルモ酵酶經過ハ稍急激ニシテ留後三日目乃至

四日目ニ水泡トナリ五日目ニ高泡七日目ニ口打ヲナシ九日目乃至十日目落泡玉泡トナリ最高温二〇・五一  
二二・四度ヲ示シ十一日目ニ地トナリ第四號第五號第九號ノ三個ハ十四日目第六號ハ十五日目ニ搾揚ヲナ  
シタリ但シ第六號ヲ除クノ外ハ何レモ搾揚前日又ハ二日目前ニ於テ(コイル)ニ冷水ヲ通ジ適宜冷却シ品温  
一三・一一五・三度ニ於テ搾揚ゲタリ

然ルニ第二十七號醪ニ使用シタル酒母ハ枯ラシ期間長カリシヲ以テ初添丈ケハ稍高温ニ仕込ミ仲添留添ハ  
前各號ノ如ク低温仕込トナシタルニ留後ノ荒櫂ハ稍後レ六日目ニ水泡七日目ニ高泡トナリ九日目ニ口打ヲ  
ナセリ爾後醱酵旺盛ニシテ優良ナル經過ヲ示シ十一日目最高温二一・三度十五日目ニ至リ「コイル」ニ冷水  
ヲ通ジ冷却シ十六日目ニ搾揚ヲ了セリ

斯ク醪ノ經過モ又甚ダ優良ニシテ内地產備前米ヲ使用シタルモノト格別ノ差異ナカリシモ一般ニ醱酵ハ稍  
急激ニシテ高泡ノ期間短ク泡常ニ輕シ而シテ酒母ノ場合ト同ジク醪各號ヲ通ジテ高泡時期ノ頃ニハ微カニ  
石油臭ニ類似スル臭氣ヲ發散シタルモ泡ノ漸次引付ケ地トナルニ從ヒ殆ンド消失シ搾揚後ノ清酒ニハ全  
ク感ゼザルニ至レリ

「備考」 醪經過表ハ大差ナキニ付第五號及第九號ノ外ハ略ス

醸 分 析 表

大正十年度第五號醪(米國米第十七號乳酸速醱配使用)

調査時期	酒	糖	越幾斯	總酸	揮發酸	不揮發酸	糖分	比重
留 分 前	四・六〇〇〇	一三・九八三〇	○・一〇六三	〇・〇四一〇	〇・一〇一二	七・三六〇〇	一・〇五二〇	
口 打 後	一三・五〇〇〇	六・九五四〇	○・一七七〇	〇・〇三四二	〇・一七三七	二・六〇〇〇	一・〇一二〇	
留後 十二日目	一八・〇〇〇〇	四・九二七〇	○・二二二四	〇・〇一六八	〇・二〇八三	〇・六〇〇〇	一・〇〇〇〇	
搾 揚 前	一八・四〇〇〇	四・二九一〇	○・一八二九	〇・〇二八八	〇・一七五八	〇・二四四〇	〇・九九九〇	
留 分 前	三・六〇〇〇	一四・五九八〇	○・〇九四四	〇・〇一六八	〇・〇九〇三	六・八六〇〇	一・〇五二〇	
口 打 後	一二・二〇〇〇	六・八六四〇	○・一五九三	〇・〇一六八	〇・一五五二	二・五〇〇〇	一・〇一四〇	
留後 十二日目	一八・四〇〇〇	四・一四五〇	○・一〇〇六	〇・〇二一六	〇・一九五三	〇・六二〇〇	〇・九九九〇	
搾 揶 前	一八・五〇〇〇	三・二七六〇	〇・二〇六〇	〇・〇一四〇	〇・一八二九	〇・九三六〇	〇・九九三〇	

(参照) 同 第十號醪(備前米使用各種試驗成績綜合醸造  
第一號及第二十四號止即廢止醸配 $\frac{1}{2}$ 宛使用)

留 分 前	三・八〇〇〇	一五・三四三〇	○・〇七六七	〇・〇一一六	〇・〇七一四	七・七六〇〇	一・〇六一〇	
口 打 後	一〇・八〇〇〇	九・六二二〇	○・二〇〇六	〇・〇一四〇	〇・一七七四	六・六六〇〇	一・〇二六〇	
留後 十二日目	一四・六〇〇〇	六・六五八〇	○・一六五二	一	一	二・九〇〇〇	一・〇一〇〇	
搾 揶 前	一六・〇〇〇〇	六・一〇六〇	○・一八八八	〇・〇〇九六	〇・一七九四	一・八九六〇	一・〇〇八五	
留 分 前	一八・七〇〇〇	三・四四六〇	○・二一八三	〇・〇一六四	〇・一九二三	〇・七五六〇	〇・九九六〇	
口 打 後	一〇・七〇〇〇	九・九二六〇	○・一三五七	〇・〇一四〇	〇・一二二〇	六・三六〇〇	一・〇五五五	
九 日 目	一二・八〇〇〇	七・九五四〇	○・一六五二	一	一	五・一八〇〇	一・〇二八〇	
						三・七〇〇〇	一・〇一七五	

(参照) 同 第十一號醪(備前米使用各種試驗成績綜合醸造  
第二十七號及第二十八號乳酸速醱配 $\frac{1}{2}$ 宛使用)

留 分 前	四・一〇〇〇	一五・三二七〇	○・〇五九〇	〇・〇二一六	〇・〇五三七	六・三六〇〇	一・〇五五五	
口 打 後	一〇・七〇〇〇	九・九二六〇	○・一三五七	〇・〇一四〇	〇・一二二〇	五・一八〇〇	一・〇二八〇	
九 日 目	一二・八〇〇〇	七・九五四〇	○・一六五二	一	一	三・七〇〇〇	一・〇一七五	

國立試驗所報告第八十九號

醸造試験所報告第八十九號

製成歩合モ亦其ノ當時搾揚ゲトナリタル備前米使用ノ分ト對照シ大差ナキコトハ左表ノ如シ  
米國米使用清酒製成歩合

仕込號	醸	清酒	粕	清酒	醸	垂合	粕	水
一三・五六五	一一・七二九	六三・三〇〇	一・四六六	一・六九六	八六四	七・八七五	一・〇五〇	
一三・四三〇	一一・九一九	六七・一〇〇	一・四八七	一・六七九	八八七	八・三八四	同	
一三・六九九	一一・七二三	六三・三〇〇	一・四六五	一・七一二	八五五	七・九一二	同	
一三・四八八	一一・九七七	六八・六〇〇	一・四九七	一・六八六	八八八	八・五七五	同	
一二・九二八	一一・四五一	六四・二〇〇	一	一	八八五	八・〇一五	同	
一二・九二八	一一・四五一	六四・二〇〇	一	一	八八五	八・〇一五	同	
備前米使用清酒製成歩合								
一三・五八九	一二・〇一二	五七・七〇〇	一・五〇一	一・六九八	八八四	七・二一二	一・〇五〇	
一三・五〇九	一二・〇七四	六七・四〇〇	一・五〇九	一・六八六	入九三	八・四二五	八・二〇〇	
一三・六六五	一一・九二六	五九・三〇〇	一・四九〇	一・七〇八	八六八	七・八一二	一・〇〇〇	
一三・〇八〇	一一・五〇一	六五・五〇〇	一・四九〇	一・六三五	八七九	八・二〇〇	一・〇〇〇	
一三・〇五五	一一・四六六	六二・〇〇〇	一・四三八	一・六三五	八七九	七・七五〇	七・七五〇	
一四	一三	二二	一〇	二七	九六	五四	四	

製成酒ノ品位

右加州米使用ノ清酒ヲ本所内ニ於ケル品位調査會並鑑定人ノ喇酒ニ附シタル成績ハ左ノ如ク之ヲ備前米使  
用ノ清酒ト比較シテ格別遜色ナク中位ヲ占メタリ

——新酒九點中（二月二十四日）

順位

七

四三

四

月十七日

順位

九

九  
七

九

八

10

米國加州產米使用釀造試驗

九 號

四、初呑切十一點中

(七月十五日)

仕込號

二七號

五、貯藏酒 十八點中

(六月十六日)

仕込號

四 號

五 號

六 號

七 號

八 號

九 號

六、貯藏酒 十四點中

(七月十五日)

仕込號

五 號

六 號

七 號

八 號

九 號

七、貯藏酒 二十二點中

(七月三十一日)

仕込號

五 號

六 號

七 號

八 號

九 號

十 號

十一 號

十二 號

十三 號

十四 號

十五 號

十六 號

十七 號

十八 號

十九 號

二十 號

二十一 號

二十二 號

二十三 號

二十四 號

二十五 號

二十六 號

二十七 號

### 結論

繩詰以後ノ爲メ缺ク

四 號  
五 號  
六 號  
七 號  
八 號  
九 號  
十 號  
十一 號  
十二 號  
十三 號  
十四 號  
十五 號  
十六 號  
十七 號  
十八 號  
十九 號  
二十 號  
二十一 號  
二十二 號  
二十三 號  
二十四 號  
二十五 號  
二十六 號  
二十七 號

以上ノ如ク米國加州產米ヲ清酒ノ釀造ニ使用シタルニ好成績ニシテ實地操作ニ於テモ内地產米ヲ使用スルト殆ンド徑庭ナシ

左ニ本試験ノ結果ヨリ得タル注意事項ヲ列記シ加州產米ヲ使用シテ清酒ヲ釀造セントスル場合ノ参考ニ資セントス

一、加州產米ニハ種類多カルベキモノ本試験ニ使用シタルモノハ備前米ニ比スル時ハ幾分外部軟ニ心部硬キ感アルニヨリ浸漬時間長キニ過グレバ粘性ヲ帶ビ麴ノ破精具合良好ナラズ之ニ反シ浸漬時間短キニ失スル時ハ硬質米ニ於ケルガ如キ不利アルヲ以テ浸漬ノ當ヲ得ルコト肝要ナリトス

二、次ニ之ヲ使用シタル酒母、醪ノ醣酵經過ハ備前米使用ノモノニ比シ幾分急激ナル傾向ヲ呈スルガ故ニ實地操作ノ加減ニ依リ仕込ノ初期ニ溶解糖化ヲ相當進メ置クヲヨロシトス

三、最後ニ尚注目スペキコトハ製成酒ニハ何等ノ異臭ナキモ蒸餾當時ノ蒸米並製麴中切返以後最高溫度頃迄ハ微カニ包裝麻袋ノ臭氣（所謂南京米袋様ノ臭氣）ヲ感シ酒母醪ノ醣酵中微カニ石油臭ニ類似スル異

様ノ臭氣ヲ發生スルコトアルハ好マシカラザルコトニテ之ハ畢竟精白ノ際發熱高キモノヲ直ニ麻袋（南京米袋ト稱セラル・モノ）ニ詰メタル結果ナルベケレバ包裝ヲ木綿袋ニ換ヘ玄米ノ儘輸入スルカ或ハ精白後充分冷却スルヲ待ツテ木綿袋詰メトナサバ右臭氣ノ發生ヲ免レ得ペシ製造表

第九、拾、拾壹、拾貳號酒母麴製造表

第六、拾七、拾八、拾九號酒母麴製造表

第五號初添麪製造表

米國加州產米使用醣造試驗

積 替	同	同	前一〇	三二〇	二五〇	二五〇	二五〇	二四〇	
仲 仕 事 務 替	同	同	後一〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	二四〇	
積 替	同	同	後三半	三五五	三五五	三五五	三五五	二四五	
仕 舞 仕 事 務 替	同	同	後五牛	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	二四五	
積 替	同	同	後八半	四一〇	四一〇	四一〇	四一〇	二四〇	
出 麵	同	五	前三牛	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二四〇	
米浸時間	九・三〇	浸水溫度	一〇・三	更水度數	一	米蒸時間	一・〇	製造全時間	四一・五
引込量	〇・三二〇	種麴 製造者	本所	米蒸時間	一・〇	使用量	石三五匁	試驗事項	米國米使用試驗
原料米	米種	米國米	品質	中	本所	試驗事項	米國米使用試驗	製造全時間	四一・五

第五號仲添麵製造表

積 替	同	五	前一〇〇	三五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	
仲 仕 事 務 替	同	六	後一〇	三五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	
積 替	同	六	前一〇	三五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	
仕 舞 仕 事 務 替	同	七	前八〇	三五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	
積 替	同	七	後一〇	三五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	
出 麵	同	八	前一〇〇	三五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	
米浸時間	九・三〇	浸水溫度	一〇・三	更水度數	一	米蒸時間	一・〇	製造全時間	四一・五
引込量	〇・三二〇	種麴 製造者	本所	米蒸時間	一・〇	使用量	石三五匁	試驗事項	米國米使用試驗
原料米	米種	米國米	品質	中	本所	試驗事項	米國米使用試驗	製造全時間	四一・五

第五號留添麵製造表

出 麵	同	七	前三〇	四〇・五	二四・五	二四・五	二三・五	二三・五	
米浸時間	九・三〇	浸水溫度	一〇・三	更水度數	一	米蒸時間	一・〇	製造全時間	四一・五
引込量	〇・七一〇	種麴 製造者	本所	米蒸時間	一・〇	使用量	石三五匁	試驗事項	米國米使用試驗
原料米	米種	米國米	品質	中	本所	試驗事項	米國米使用試驗	製造全時間	四一・五

第九號初添麵製造表

第九號仲添麪製造

第九號留添麪製造表

醸造試驗所報告第八十九號

六〇

六〇

米浸時間 一〇〇 浸水溫度 一二・七 更水度數 一  
引込量 ○・七一〇 種麴 製造者 本所 使用量 石三五匁  
原料 米 米種 米國米 品質 中 試驗事項 米國米使用試驗  
米蒸時間 一・〇

大正拾年(1921)度第一二號酒類經過表(清酒)

米國加州產米使用釀造試驗

鐵道試驗所報告第八十九號

六二  
(六二)

一五	同								一二〇	七〇
一六										
一七	熟	成								
一八										
一九										
二〇										
二一										
二二										
二三										
二四										
二五										
二六										
二七										
二八										
二九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										
三二										
三三										
三四										
三五										
三六										
三七										
三八										
三九										
三〇										
三一										

同  
第一七號酒母經過表(清酒)

不浸時間	味米 九・五○	浸水溫度	—	味米 一六・〇	更水度數	—	米蒸時間	一時間
原料米	米種 米國米	品質	—	搗減	〇・〇六九	原料水	構內井水	
原量配合量	蒸米 •五〇〇	麴米 •二〇〇	汲水 •六〇〇					
江込時各品溫	蒸米溫 八四・〇	麴溫 二・〇	水溫 九・六					
試驗事項	米國米使用試驗	製造方法	速釀醸					

同  
第五號醪(清酒)

正午打込前  
甲親一八四  
一五五室八〇  
後七時口打前  
乙親一九五  
一七一室八〇

午後四時ヨリ冷却ヨイシ  
二本チ通ズ

六五

(六五)

釀造試驗所報告第八十九號

六六

同  
第九號醪經過表(清酒)

大正十一年十月廿九日印刷  
大正十一年十月三十一日發行

發著作者

釀造試驗所

東京府北豐島郡  
野川町

印刷者

東京市赤坂區新地町  
五丁目四十二番地

金子鐵五郎

東京市赤坂區新地町  
五丁目四十二番地

印刷所

東京市赤坂區新地町  
五丁目四十二番地

金子活版所

終